

スワルバンカー®

®は登録商標

スワルスキーカブリダニ剤 + 天敵保護装置「バンカーシート」

天敵を長期に放出！

アザミウマ類、コナジラミ類等の難防除害虫に有効です！



スワルスキーカブリダニ



適用害虫と使用方法

薬剤名: **スワルバンカー**

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	使用方法	総使用回数*
野菜類 (施設栽培、ただし、トマト、ミニトマトを除く)	アザミウマ類 コナジラミ類 チャノホコリダニ	100~200パック/10a	発生直前 ~ 発生初期	放 飼	—
		8~25パック/100株			
かんきつ(施設栽培)	ミカンハダニ	1~5パック/樹			
マンゴー(施設栽培)	チャノキイロアザミウマ	1~2パック/樹			
びわ(施設栽培)	ミカンハダニ	2パック/樹			
花き類・観葉植物(施設栽培)	アザミウマ類	200パック/10a			
		1~6パック/100株			

※印は本剤およびスワルスキーカブリダニを含む農薬の総使用回数の制限を表します。
本内容は2020年2月12日付の登録内容に基づいています。



石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

スワルバンカー®の特長



バンカーシート ここがすごい!

天敵パック製剤の効果を最大限発揮!
長期間にわたり、天敵を放出。

①天敵を長期に放出

➤ 内部で天敵を保護・生存させ、長期に放出するため、より安定した防除効果が期待できます。

②スケジュール放飼が可能

➤ 放出期間が長いので、害虫発生前に計画的に放飼可能です。

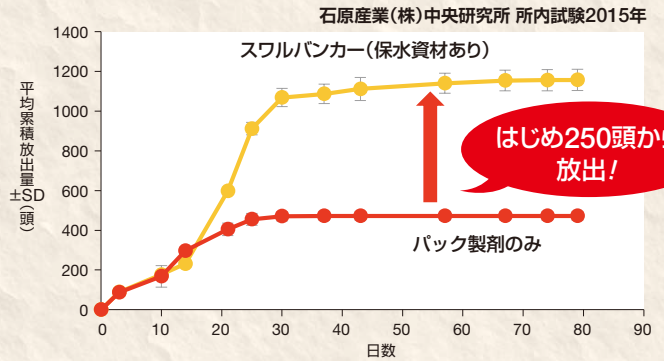
③効果が環境に影響されにくい

➤ 本体は耐水性シートのため、水や※農薬の散布に強く、外部の気温や湿度変化の影響も緩和します。

※天敵に影響がある薬剤は併用できません。天敵に対する各種薬剤の影響につきましては弊社ホームページよりご確認ください。

■バンカーシートからのスワルスキーカブリダニの放出量

(パック製剤のみとの比較、温度17℃、湿度65~75%RH)



★スワルスキーカブリダニは多湿な環境を好みます。シート内に保水資材を投入することで、天敵の生存に適した湿度80%以上の好環境をシート内に作り出し、スワルスキーカブリダニを外へ放出します。

スワルバンカー®の構成物・組み立て方



■有効成分

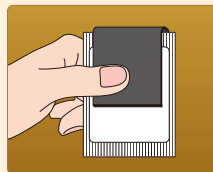
・スワルスキーカブリダニ
250頭/パック

■その他の成分

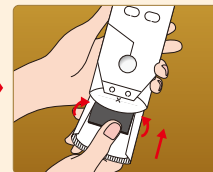
・バンカーシート ・フェルト(産卵基質) ・保水資材

規格は100個入りのみで、定着促進用の花粉の有無が選べます。

※花粉セットには、Nutrimite®(花粉50g)が付属

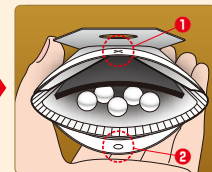


①フェルトでカブリダニパックを挟みます。



②製剤の端を折り、バンカーシートの下から奥までしっかり挿入します。

※製剤を2つ折りにしないでください。



③上記のように保水資材を5個入れてください。

①×印のある折込み部分を先に折込み、
②○印のある折込みめあとから折込んでください。

作物別設置例

①きゅうり(施設)



②なす(施設)



③かんきつ(施設)



バンカーシート®は農研機構・中央農研を中心とした農食事業(実用開発ステージ26070C)で実用化技術を確認しました。

バンカーシートの詳しい説明はこちらからご覧いただけます。

石原バイオサイエンス株式会社~生物農薬特設ページ~
<https://ibj.iskweb.co.jp/biopesticide/>



- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本印刷物は2021年7月時点での知見に基づいて作成しています。